

## 会長退任の挨拶

かけがえのない日々  
すべての皆様へ感謝

令和2年度育友会長 新澤千佳子

「息子がお世話になる大学を少しでもお手伝いができれば」。そのような気持ちで参加させていただいた育友会。4年間を振り返ると、そのすべてがかけがえのない時間であったと改めて感じております。

心に残る出来事は数えきれません。その中の一つが4年間委員として務めさせていただいた「育友会奨励賞選考委員会」。スポーツや社会貢献、ベンチャー等、様々なことにチャレンジした学生の応募論文に対し、委員同士で意見交換し選考を行いました。学生の論文を読むことは貴重な経験であったと思います。印象に残るのは表彰式でお会いした学生の皆さん。熱く想いを語る目の輝きは今も忘れることができません。今後の活躍を願っています。

また出会いも大切な出来事の一つです。育友会活動を通して多くの方々と出会いました。各支部役員や会員の皆様、教職員の皆様との交流やご助言は育友会で活動する上で大きな力となりました。本部役員とは活動を共にし、議論を重ねることから様々な思いや考え方に触れ、刺激をいただきました。悩みを話し、支え、助け合い、親睦を深めることもできました。そんな仲間と出会えたことはこの歳になってからは貴重なことだと改めて感じております。

そして育友会長に就任した4年次。コロナ禍により、先の見通しが立たない上、活動も制限される年となりました。「今できることを考え、やれることをやろう」と前向きに考え、対面が困難であることからWEBを利用した活動を行いました。役員とはオンラインで会議を重ね、行事もWEB支部懇談会、就職懇談会ライブ配信、全国支部長会動画配信

等、通常と異なる形式で開催いたしました。以前から育友会の活動にWEB化は必須であると言われておりましたが、まさかこんなに進むとは前年度には想像もしていませんでした。他にも大学や育友会からの情報を発信するメールマガジンの配信を開始したり、中止となった支部懇談会の経費の一部を学生のために支援に回したりしました。この1年無我夢中で活動していたと思います。活動を実施するためには本部、支部役員の皆様、教職員の皆様には多大なるご協力をいただきました。特に育友会事務局の苦労は相当なものだったと思います。皆様の支えがあったからこそ乗り越えられた1年です。忘れられない年となりました。

育友会本部では育友会の伝統を継承しつつ新たな時代を見据えた育友会を考えようと、令和元年度より「育友会活動推進委員会」を立ち上げ議論を重ねてまいりました。コロナ禍となったことで新たな視点も加わり、今後更に議論を重ねていくことになるでしょう。時代と共に変容しながらも育友会活動のモットーである「ご父母・保護者には安心を、学生には自信を」はしっかりと引き継がれていくことと思います。

最後になりますが、この4年間、多くの方々と出会い、貴重な経験をする機会に恵まれたことに大変感謝しております。ご支援、ご協力いただきました本部、支部役員をはじめとする会員の皆様、ご指導、ご鞭撻いただきました大学教職員、校友会役員の皆様、多くの支えをいただきました育友会事務局、校友会事務局の皆様に、心より御礼申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。